

科学技術政策形成への参加障壁を緩和する試み

2012年10月29日(月) 18:00-20:00

科学技術について議論してみたいけど、行動に移せない人(中関心層)がいます。今回は、中関心層にとっても参加しやすい場を提供する試みと、そこから見えてきた科学技術政策形成への参加障壁とその緩和に関する知見を紹介します(ゲストより)

ゲスト 山内 保典 氏

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任助教

大阪大学コミュニケーションデザイン・センターの職員です。社会の中に浸透しつつある科学技術に対し、社会がどのように向き合っていけば良いのかに関心を持ち、市民と専門家による熟議と協働の実践や、そのメタ研究をしています。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です!
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので) 夕ご飯を持参ください。



主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

水町 衣里、秋谷 直矩(京都大学)、加納 圭(滋賀大学)

お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/QdyXKD>